

Hawaii Wedding Story

一生に一度の大切なハワイ物語

憧れのハワイ挙式を『ファーストウェディング』で実現させたふたりの実話エピソードをお届けします。
第2回はとっておきのサプライズで挙式を盛り上げた紙西さんの物語です

Text : Masumi Nakajima Photo : MEGUMI

Vol.2

「サプライズ」

ダイヤモンドヘッドの頂上からキラキラ輝く海を眺めていると、「あこちゃん、正式に申し込むよ。結婚しよう」と彼からのプロポーズ。お互い自然な流れで結婚することになり、挙式の下見がてらハワイに来たけれど、まさかここでプロポーズされるなんて夢にも思わなかった。不意を突かれたようで「はい」としか言えなかったけど、すごく嬉しかったこと、彼には十分すぎるほど伝わっていたはず。

2年半前、私たちは友人同士の集まりの席で出会った。何度か同じメンバーで遊んでいるうち、自然な流れで付き合うようになった私たち。

彼の言葉やしぐさ、行動のすべてが私には不思議なくらいしつくりきりで、ずっと一緒にいたいと思った。いつもさりげなくリードしてくれる彼を尊敬しているし、たくさんの友達に囲まれて笑っている彼が大好きだ。彼の30歳の誕生日にはホテルでサプライズパーティーを開いた。私たちが出かけている間に友達が集まってセツティングしてくれ、彼は驚きながらもすごく喜んでくれた。あとから聞いた話によると、このとき結婚を決めたらしい。「僕のことをここまで想ってくれる人はあこちゃんしかいない」と。友達みんなのおかげだ。ハワイでたくさんの式場を下見に

行ったが、一番気に入ったのがロイヤルハワイアンズのココナツグロブガーデン。あのやさしいピンクが素敵だし、ハワイらしいアットホームな挙式になりそう。披露宴はオーシャンスイートワイキキ。完全プライベート空間だから大事な家族や友



人のガーデンに似合うドレスやタキシード、フラワーシャワーはもちろん、列席者の席のリボンもピンクで統一したい。それに海外の映画を見て憧れていた「ブライズメイド&グルームズマン」という挙式スタイル。友人たちが付添人として立ち会って

くれる制度だ。信頼する友人がそばにいてくれる結婚式は私たちにピッタリだと思う。Oさんの細かな心配りで準備はスムーズに進んだ。

*

すでに入籍をして夫婦になっていた私たちだけけど、おなかに赤ちやんがいるとわかったのは式の3カ月前。新しい命が自分の中に宿るといふ感動と、家族が増えるという喜びに胸が震えた。その夜、エコー写真を小さな箱に入れ、リボンをかけて彼に渡した。突然のプレゼントを不思議がっていた彼だけど、箱を開けたときの表情は

忘れられない。私はいつも彼の驚く顔と喜ぶ顔、両方を見るのが大好きなんだ。仲間にはハワイでのパーティーでサプライズ告知するため内緒にしておこうと約束した。

*

樹齢を重ねたヤシの木々に囲まれ

た式場。自然の心地よさとハワイの歴史を感じる優雅なガーデンでのウェディング。小鳥のさえずりを聴きながら父とパーズンロードを歩き、彼の手をとった瞬間、涙があふれてきた。誓いの言葉を大切に述べ合う。言葉の一つひとつにだけ想いを込めたことは今までになく、彼はあの瞬間、結婚することの重みと責任を実感したようだ。両親にレイをかけハグをしたときも、すごく幸せな気持ちになった。日本での挙式だったらこんなふうに両親を抱きしめることもなかったかもしれない。

挙式後のフォトツアーはダイヤモンドヘッドが見えるアラモアナビーチパーク。ブライズメイド&グルームズマンの友人4人も一緒に、関西人の血が騒ぎ、あんなポーズやこんなポーズとカメラマンも楽しみながらの撮影となり、面白い写真の連発だった。私のおなかに彼が耳をあてているホテルでの写真と並べて、今も部屋に飾っている。

披露宴では妊娠のニュースをサプライズ告白したが、友達からのサプライズ返しは、式に出席できなかった友達のお祝いを集めたメッセージブックのプレゼント。その中には彼からもらう初めてのラブレターもあり、「今までの人生で、あこちゃんがお嫁さんになってくれたことが最も幸運なことです」と結んであった。私も彼のお嫁さんになって世界一幸せ。5カ月後に生まれる子どもと、この先もいろんなことを一緒に乗り越えて、いつも幸せに笑っていたい。

お問い合わせ先 www.first-wedding.net